（導管）第1表　年度別の需給計画表（ピーク時需要量等）

事業者名：北海道電力株式会社

		単位	2024年度（実績）	2025年度（実績見込）	2026年度（初年度）	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
導管A	年間需要量	㎥／年			16,876,794	74,961,220	74,961,220	74,961,220	74,961,220
	ピーク時需要量	㎥／時間			19,048	19,461	19,461	19,461	19,461
	調整力確保量	㎥／時間							
	調整力	%							
導管B	年間需要量	㎥／年			12,564,870	60,888,994	60,888,994	60,888,994	60,888,994
	ピーク時需要量	㎥／時間			14,264	15,572	15,572	15,572	15,572
	調整力確保量	㎥／時間			52,887	(51,194)	(50,864)	(47,207)	(47,207)
	調整力	%			370.8%	328.8%	326.6%	303.2%	303.2%
	年間需要量	㎥／年							
	ピーク時需要量	㎥／時間							
	調整力確保量	㎥／時間							
	調整力	%							
合　計	年間需要量	㎥／年			29,441,664	135,850,214	135,850,214	135,850,214	135,850,214
	ピーク時需要量	㎥／時間			33,312	35,033	35,033	35,033	35,033
	調整力確保量	㎥／時間			52,887	(51,194)	(50,864)	(47,207)	(47,207)
	調整力	%			158.8%	146.1%	145.2%	134.8%	134.8%

導管A：北海道地区における当社北広島受渡施設～当社流通分岐ステーションを接続する当社導管
導管B：北海道地区における上記を除く当社導管

・別表の第2表、第3表、第5表については特定ガス導管事業者には作成義務が課されておりませんので作成しておりません。

第8表　主要導管図

特定導管路線図

縮尺　1:200,000



北広島受渡施設
（北海道ｶﾞｽ㈱）

輪厚川左岸VP

東の里分岐S

北海道ボールパーク
ｶﾞﾊﾞﾅｰｽﾃｰｼｮﾝ
（北海道ｶﾞｽ㈱）

勇払・札幌間ガスパイプライン（北海道導管A）
始点：北広島受渡設備、終点：美々受渡VP
（336.6/154.1/101.5mm×6.86MPa×51,302m）

漁川左岸VP

漁太VS

長都分岐S

千歳川左岸VP

千歳川右岸VP

北海道ガス㈱千歳GS

エア・ウォーター・
ライフソリューション㈱

流通分岐S

駒里分岐S

北海道ｶﾞｽ㈱

美々受渡VP

勇払・札幌間ガスパイプライン（北海道導管B）
始点：勇払ガスセンター、終点：駒里分岐S
（336.6/317.6/154.1/143.2/73.9mm×6.86MPa×27,929m）

早来VS

植苗VS

苫小牧向け東開GSライン（北海道導管B）
始点：勇払ガスセンター、終点：東開受渡施設
（154.1/102.3mm×3.43MPa×1,058m）

柏原分岐S

北海道ｶﾞｽ㈱

東開受渡施設
（苫小牧ｶﾞｽ㈱）

苫東VS

苫小牧向けガスパイプライン（北海道導管B）
始点：勇払ガスセンター、終点：苫小牧ガス（末広町）受渡施設
（203.3/150.3/102.3/97.1/73.9/49.5mm×6.86MPa×7,810m）

晴海分岐VP

勇払ガスセンター

苫小牧ｶﾞｽ（末広町）
受渡施設
（苫小牧ｶﾞｽ㈱）

凡　例
- :注入地点
- :需要家等受渡施設
- :分岐S,VS,VP等
- :ガスの流れ

1:200,000

第8表　別紙　導管図

（）内の数字は「配管内径、最高使用圧力、延長」の順に表記（〇〇mm×〇.〇〇MPa×〇〇,〇〇〇m）

